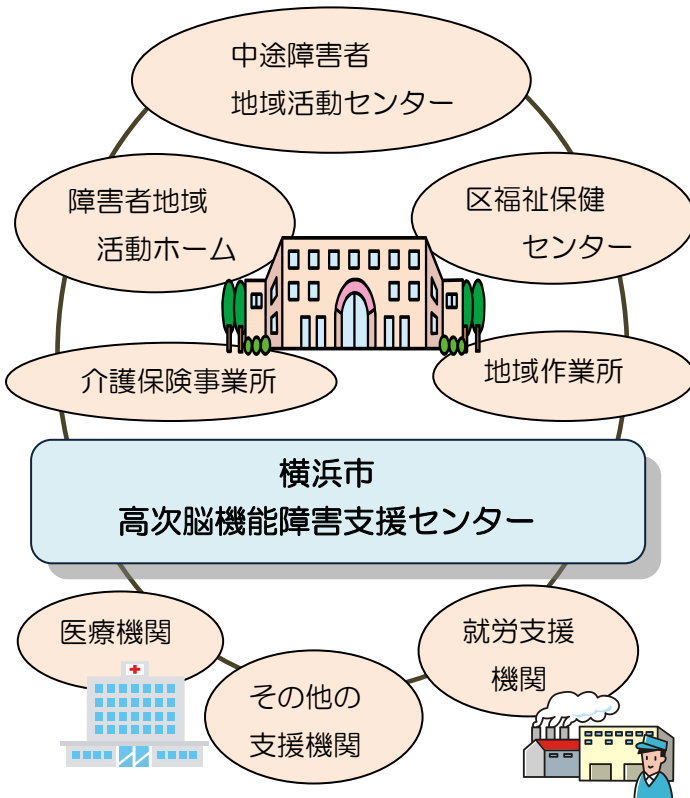


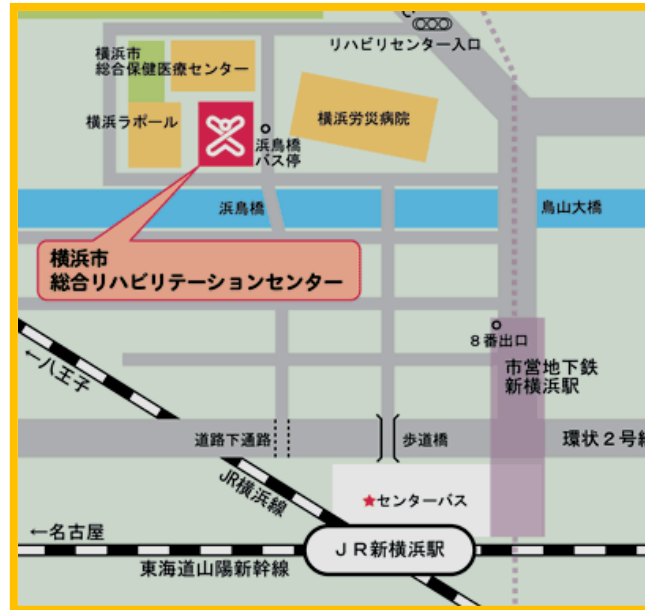
高次脳機能障害支援センターの スタッフ

支援コーディネーター
 ソーシャルワーカー
 医師 看護師 臨床心理士
 作業療法士 (OT) 言語聴覚士 (ST)
 理学療法士 (PT) 生活支援員 作業指導員
 スポーツ指導員 リハ工学技師

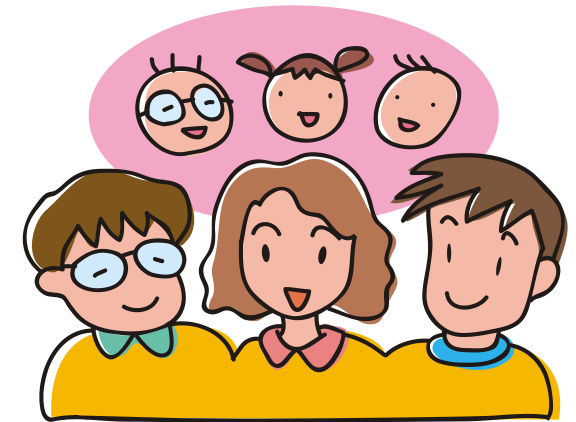
地域関係機関との連携



交通案内 新横浜駅より徒歩約 10 分
 専用送迎バスで約 5 分



横浜市 高次脳機能障害 支援センター



お問い合わせ

横浜市
高次脳機能障害支援センター

〒222-0035
 横浜市港北区鳥山町1770
 横浜市総合リハビリテーションセンター内

電話: 045-472-4722
 FAX: 045-472-4723



横浜市リハビリテーション事業団

横浜市高次脳機能障害支援センターの取り組み

高次脳機能障害とは

脳出血、脳梗塞などの病気や、事故による頭部外傷などによって、脳に損傷を受けたときの後遺症の一つです。主な症状として注意障害、記憶障害、情報処理速度の低下、自己意識性の低下、遂行機能障害、易疲労、社会的行動障害があり、いくつかの症状が影響しあうことがあります。

見えにくい障害

身体障害とは異なり目に見えにくいため、ご本人・ご家族・支援している方が気づきにくいことがあります。

どうしたらいいでしょう？

まずは
ご相談
ください

医師や専門職が
診断や評価
を行います

生活や仕事のやりづらさを補う方法を
身に付けたり、行動しやすい
環境の整え方を考えましょう

安心できる生活と
充実した社会とのつながりを
つくりましょう



専門職員による相談

リハ訓練を受けたい、復職や復学を支援してほしい、福祉サービスを知りたいなど、高次脳機能障害にかかわる相談をお受けします。



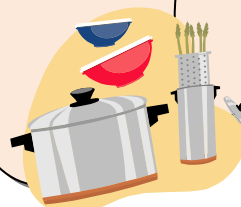
高次脳機能障害外来

医師が診察し、高次脳機能障害についてご説明します。その上で、支援計画を作成し専門職による評価を進めます。



訓練・支援のプログラム

臨床心理士・作業療法士
理学療法士・言語聴覚士
スポーツ指導員による訓練の他に、地域生活や就労のための評価・訓練を行うこともできます。



訓練の成果を生活に

ご本人・ご家族や支援者の方に障害への理解を深めていただき、対応方法をお伝えします。そして、身の回りのことや日中活動が継続できるように支援します。



地域支援・研修

実際の生活や活動の場に職員を派遣し、対応方法の定着や環境調整を支援します。その他研修なども企画します。